

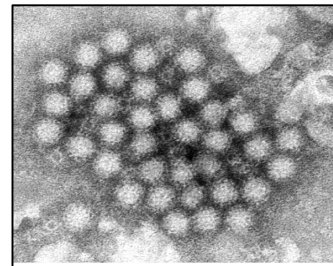
# 山口県感染症発生週報

(第45週:平成23年11月7日～11月13日)

## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

◆**結核**: 第42週追加:3例(いずれも宇部)。第43週追加:1例(宇部)。第44週追加:1例(長門)。第45週:6例(下関2例、岩国3例、宇部1例)。



ノロウイルス CDC/ Charles D. Humphrey

## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

- ◆**インフルエンザ**: 患者発生報告が岩国、柳井からありました。迅速検査では、A型陽性13例、B型陽性1例、臨床診断3例でした。
- ◆**RSウイルス感染症**: 過去4年間の同時期と比較して多い状況で推移しています。全国的にも例年と比較して多い状況ですので注意が必要です。
- ◆**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 増加しています。長門は今週警報レベルとなりました。  
【警報レベル=長門】※
- ◆**感染性胃腸炎**: 増加傾向が続いています。特に山口、周南で報告が多く、山口でも新たに警報レベルとなりました。冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので今後の動向に注意が必要です。  
【警報レベル=山口、周南】※
- ◆**手足口病**: 2011年は大流行しましたが、今週すべての地域で警報レベルの終息基準値を下回りました。
- ◆**伝染性紅斑**: 過去4年間の同時期と比較して4年ぶりに多い状況が続いています。山口ではやや多い状況です。
- ◆**マイコプラズマ肺炎**: 報告数が多い状況です。全国的にも例年と比較してかなり多い状況ですので注意が必要です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuhiho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	43週	44週	45週	疾患名	43週	44週	45週
インフルエンザ	34	27	17	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	43	71	42	ヘルパンギーナ	16	8	11
咽頭結膜熱	10	7	8	流行性耳下腺炎	13	32	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	79	59	104	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	400	456	481	流行性角結膜炎	3	4	0
水痘	21	43	40	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	50	38	16	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	21	15	15	マイコプラズマ肺炎	10	9	13
突発性発しん	38	47	45	無菌性髄膜炎	0	0	0

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	16	1	0	0	0	0	0	0	17
RSウイルス感染症	23	3	2	2	2	2	3	5	0	42
咽頭結膜熱	0	0	0	1	2	2	0	0	3	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	8	2	22	1	22	13	16	8	104
感染性胃腸炎	52	31	3	186	21	118	52	7	11	481
水痘	16	2	1	8	3	8	2	0	0	40
手足口病	0	6	1	2	0	3	1	3	0	16
伝染性紅斑	0	2	1	5	0	5	1	1	0	15
突発性発しん	14	2	3	9	3	6	5	1	2	45
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1	0	0	0	6	0	4	0	0	11
流行性耳下腺炎	25	1	0	1	0	0	0	0	0	27
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3	4	0	3	0	1	1	1	0	13
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0